

くよくよしても一生・楽しくしても一生

開店 10 周年の記念講演会には、東京 DD クリニック院長の内海聡先生に「薬の害について」と題してお話をして頂きました。内海先生は主に精神薬や社会毒についての啓もう活動や断薬を指導している先生です。フェイスブック人気ランキングで現在 7 位と日本中で注目されている医師です。竹屋陶板浴での内海先生の講演会は 2 回目でした。竹屋の会議室には入りきらず、キャンセル待ちが 20 人以上と大変好評でした。

先生から「効果が証明されているものばかりではなく、検査方法でさえはつきりしていない薬が処方されている」との具体的な実態。「体に良いワクチンは何もない、インフルエンザワクチンのかえって風邪をひいてしまう」「マスコミからの報道に頼るのではなく、どんなことでも表と裏があり自分で調べる、人任せにしない、自立した人間にならなければ日本も大変な方向に進んでしまう」など、医療界だけではなく、社会への警告まで熱っぽく話されました。本来ならば私たちが自分の頭で考え、周りで起きていることにもっと敏感に行動しなくてはいけないことなのでしょうが、人まかせ的な人生が身についてしまっているのでしょうか。参加された方々からは「貴重な話を聞かせてもらいました」「大きな衝撃を受けました。もっと勉強していきたいと強く思いました」「軍事産業に支援している様な企業から買い物をしないようにします」など感想が寄せられました。知らない事は怖い事、生きる事は学ぶ事と強く気付かされました。

あるお客様が「母親の様子少し変だったのでこれは脳かなと、すぐ救急車を呼びました。そのおかげで今はこうして何の障害もなくいられるのよ」と話していました。知識は生命まで助けてくれるのですね。陶板浴内でも「たんぽぽ交流会」の際に学習会も計画しました、どうぞご参加下さい。

大阪に行く用事があり、ついでに京都へ寄ってきました。若いとき何度か京都歩きをしたのをなつかしく思い出し、いくつかのお寺巡りをし、ふっと思い出したことがありました。「京都大原三千院恋につかれた女が一人・・・」20 代の終わり頃ラジオから流れ聞いた歌、着物姿のしっとりとした女性を想像しながら、私にもこんな心境が合う年齢はいつになったら来るのかしらと憧れ、聞いたのを覚えています。あれから 40 年近く過ぎ年齢だけは確実に来てくれました。朝早く宿を出、歩き疲れた女が一人どこか美味しいお店はないかとキョロキョロ歩く姿に、昔想像した京都一人旅の現実とのギャップ、かなりかけ離れているなと思い、心で「くすっ」と笑いながら京町を歩きました。人生って意外とあっけなく過ぎてしまうのかと思う年齢になってしまいました。9 年前会長(夫)が倒れたときは地球の時間が止まったような日々を過ごしていたのに。くよくよしても一生、楽しくしても一生ですね。